

最先端×最先端、町に若返りのタネをまく

～第二のふるさとを救うクリエイターが集うラボ～

チーム名

「りっちゃんとのんちゃん」

鹿児島大学法文学部人文学科4年
株式会社ecommit時短正社員

野崎翔太（のんちゃん）

南大隅が
大好き！

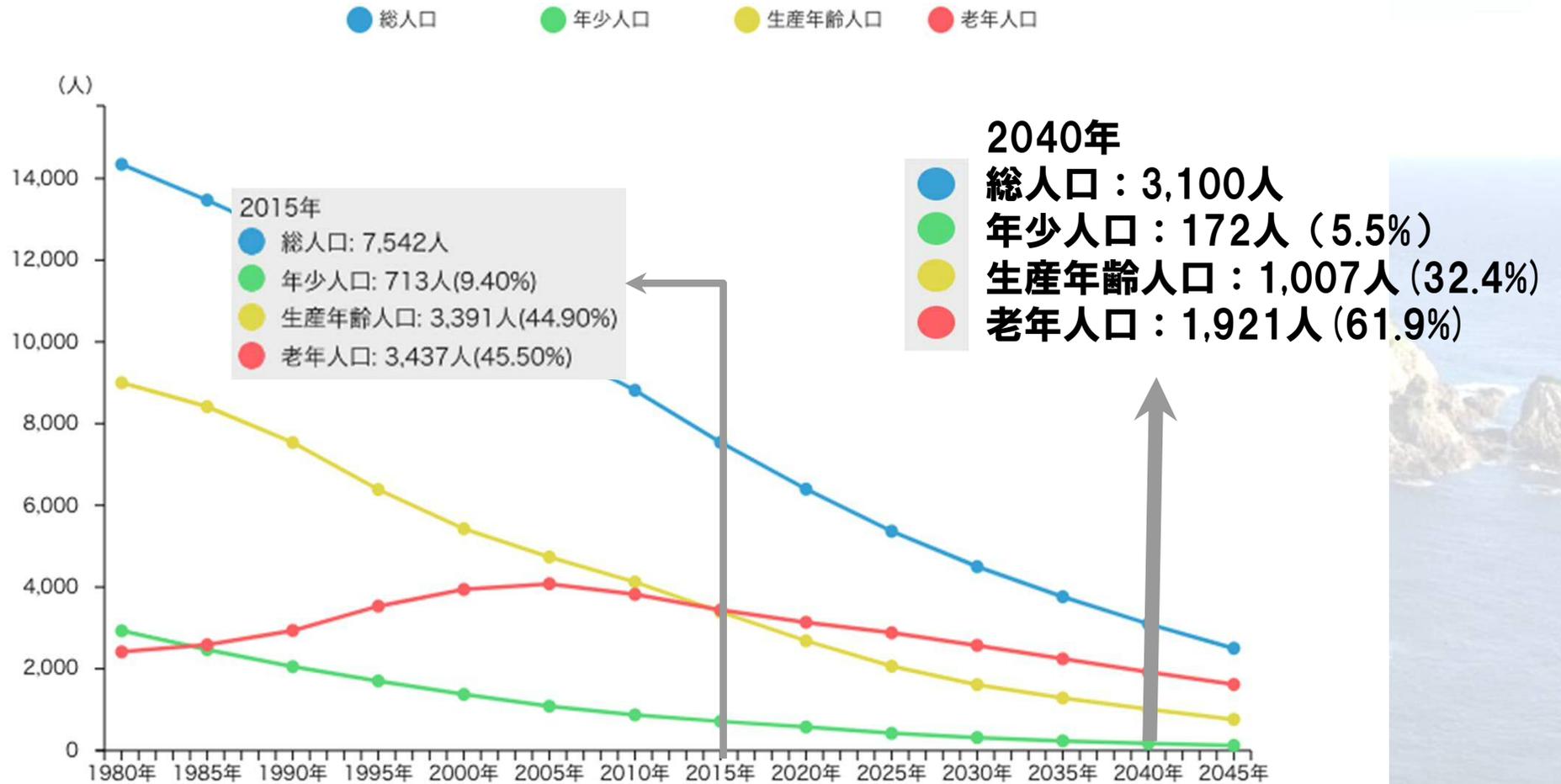
鹿児島大学農学部森林環境科学科3年
株式会社Ktion代表取締役

高本梨花（りっちゃん）



データから見る南大隅

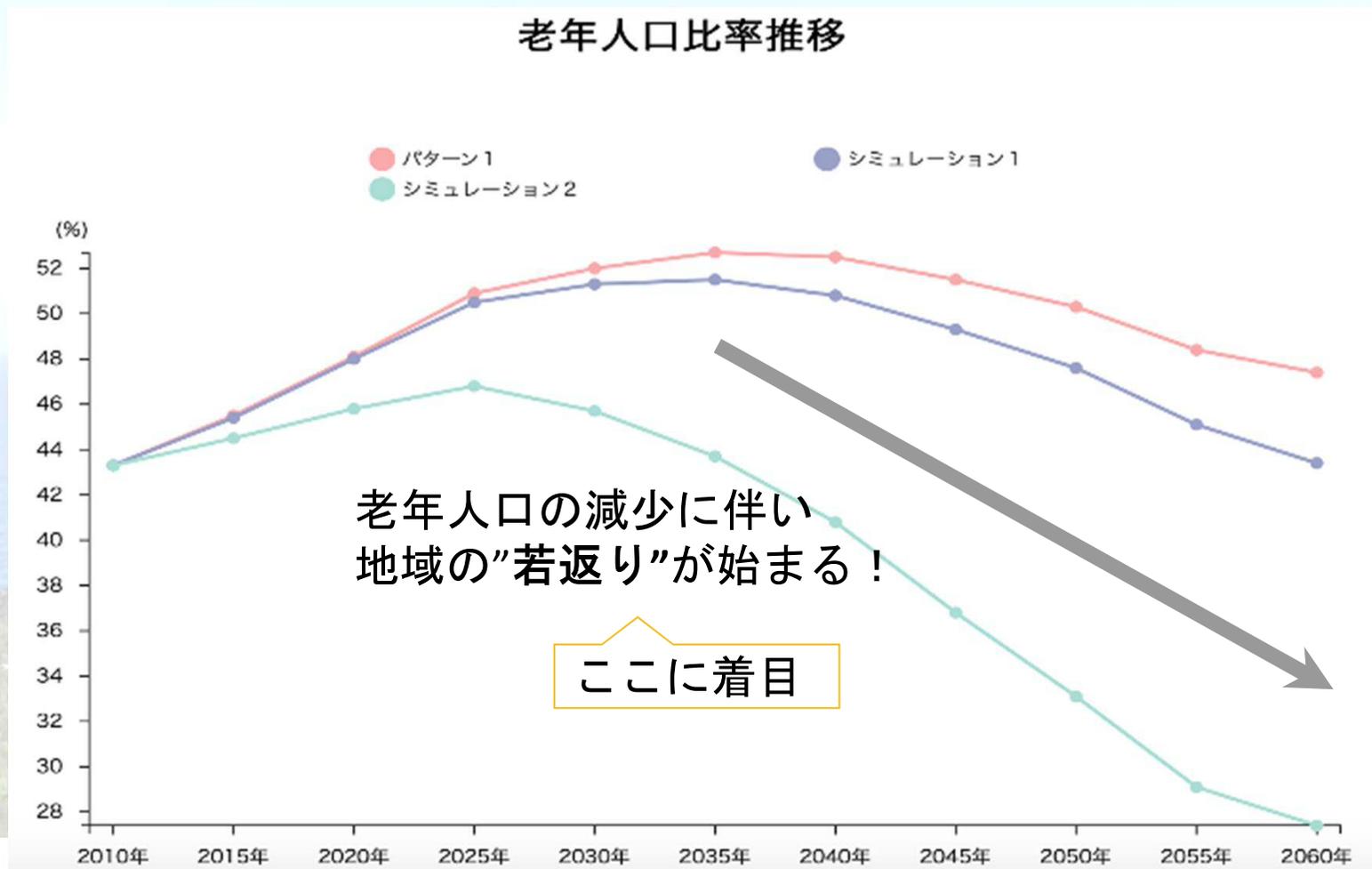
人口推移 鹿児島県南大隅町



【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データから見る南大隅



【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

パターン1：全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計（社人研推計準拠）

シミュレーション1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇したとした場合のシミュレーション

シミュレーション2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合のシミュレーション。

仮説

日本最南端、最先端の人口減少が進む南大隅町に、最先端技術を持つクリエイターが移住し、地域の困りごとを解決しながら生活すると、生産年齢人口の増加につながり、地域の活性化と未来創造に繋がるのではないか。

地域の人の声



**「頑張っている人はたくさんいる。
でも、外への発信までできない。」**

（農機具販売Uさん）

**「ネットも機械の知識もなく、
それを勉強するだけの時間もない。」**

（バラ農家Tさん）

**「スマートフォンは面倒くさい、
携帯（ガラケー）だけあれば十分。」**

（肥育農家Oさん）

仮説に対する問題点

- クリエーターと地元の人をつなぐ存在が必要
- 前者の何ができるのか、後者の何に困っているのかを言語化する必要がある
- お互いがわかり合って馴染めるかが心配
- 行政ではできない
(手が足りない、意欲的ではない)



マッチングを担おう！！

「最先端クリエイターラボ」

**政策内容：クリエイターと地域の困りごとをマッチング
「最先端クリエイターラボ」の運営**

運営メンバー：2名程度（新設立のNPO法人「風と土の学び舎」との連携も検討中）

概要：全国のクリエイター向けに南大隅の特産品や情報をお届けするオンラインサロン。日本中の様々なクリエイターに南大隅のファンになってもらい、「困った時はお助けするよ」の関係性を作る。地域から困りごとが出た場合に解決してくれるクリエイターを随時募集する。

コンセプト：「クリエイターの皆さんへ、ふるさとをお届けします」

年会費：数千円～数万円

メリット：すでに南大隅のことを知っている、心を掴んでいる人に困りごとの解決をお願いすることにより、マッチングの成功率がアップする。

ビジネスモデル

地域の人



困りごと相談
地域の情報提供



完成後
売り上げから数%

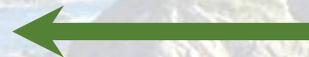


最先端クリエイターラボ

特産品
仕事の依頼



年会費



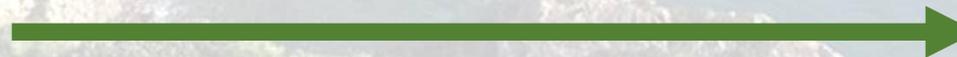
クリエイター



仕事引き受け（納期の決定）



納期まで無償で食料の提供
仲間として受け入れる



「最先端クリエイターハウス」

最先端クリエイターハウス

地域の人と空き家を改装して作る

中長期滞在の場
Wi-fi完備
自炊できる

オープンスペース
仕事の相談 依頼
交流の場

ビジョン

2040年地域の若返りが始まる



**最先端×最先端の地域として
注目が集まる**



**クリエイターをはじめとした
面白い人材の移住が盛んになる**



生産年齢人口の増加

A scenic view of a rocky coastline. In the foreground, a lush green forested hillside slopes down towards the water. The middle ground features several large, rugged rock formations jutting out into the blue ocean. The background shows a vast expanse of the sea meeting a clear, light blue sky at the horizon.

ご清聴、ありがとうございました。